

恵庭子ども塾☆魚塾の開催

新井 雅博

平成26年9月27日（土）の14時30分～16時に、恵庭市教育委員会が主催する「恵庭子ども塾」の魚塾が開催され、本塾に参加した市内の小学4～6年生の児童19名と引率者の方々4名が、さけます・内水面水産試験場を訪れて、体験学習を行いました。



写真1 全体写真

本塾は、毎年この時期に開催され、魚釣りや森遊びなどを通して恵庭の自然をいっぱい楽しむことを目的に開催されております。この日は午前中に島松沢にあるテナパウンドで魚釣り体験を行い、午後から内水試を訪れました。この日は天気も良く、午前中の魚釣りでは、生徒達からたくさんのニジマスが釣れたと報告がありました。

水産試験場に到着後は、参加者全員で記念写真を撮り、その後展示研修館へ移動して、講師役の総務課新井主査



写真2 メモを取りながら学習する様子



写真3 バケツから魚の餌を取出す生徒達

と内水面資源部中島研究主幹の自己紹介後、それぞれ「北海道の水産業について」と「漁川（いざりかわ）の魚たち」と題して講話を行いました。「北海道の水産業について」では、道内で獲れる魚介類の種類等や漁師さんが漁で使う道具の種類や漁船等について、いろいろ学びました。講話の中で生徒達にいくつかの質問を出しましたが、全て正確に解答していたところは感心しました。

次に「漁川の魚たち」では、漁川の名前の由来や川にすむ魚たちの特徴について、それぞれ写真を使って詳しく説明しました。児童達は真剣な眼差しで、説明を聞いていました。説明後、研修室に展示された水槽で泳ぐヤマベ、エゾウグイやチョウザメ等の魚たちの特徴などを間近に観察し、講話の内容を再確認しました。

次に展示研修館から屋外にある飼育池に移動しイトウ



写真4 屋外飼育池での様子



写真5 魚に餌やりする様子

やニジマス、サケ稚魚やチョウザメ等の泳ぐ姿を観察しました。また、参加者全員で餌やり体験を行いました。餌やりの体験は初めての児童が多く、魚たちが餌を求めて水面から跳ね上がる様子にははじめは驚いたようでしたが、すぐに慣れて、とても楽しそうに行っていました。餌やり体験はとても人気があり、あらかじめ用意した餌は、児童たちの手で、すぐに魚の胃の中へ。

魚塾の日程は、当場の体験学習ですべて終了となりましたが、10月4日には「緑のふるさと森林公園」でウォークラリーや自然観察等の森塾が開催される予定で、子ども達の期待はさらに高まっていました。

(総務課主査(連携) あらいまさひろ)